

森林パトロール通信

令和3年7月5日発行 第4号

遊々の森

中里中学校2年生が
下刈・補植・測樹作業を体験！

7月2日（金）、中泊町立中里中学校2年生56名が袴腰山国有林207の3林小班内において、下刈・補植・測樹作業を行いました。

生徒56名を10班に分け、1班～5班は、輪尺・測竿及び測高器を使った測樹作業を、6班～10班は下刈・補植作業を行い、途中で交替するという形式で開始しました。

測樹作業では、各班に配置された支署スタッフから輪尺・測竿及び測高器の使い方を教わりながら、スギ・アカマツ・広葉樹の5本の立木を計測し、野帳に記入しました。

下刈・補植作業は、昨年10月に自分たちが植栽した「ヒバ空中取り木苗」箇所を下刈鎌を使用し、苗を傷つけないように慎重に刈り払っていました。（空中取り木苗は、100%根付いていました。）また、一緒に植栽したヒバの山取苗の補植を各班で協力し合いながら、各班2本植樹しました。

生徒たちから、「木の高さを測るのが難しかった。」「木を植えるときに穴を掘るのが難しかった。」と苦労した言葉があった反面、「外で作業するのは、気持ちが良い。」「器械を使って木の太さや高さを測るのは楽しい。」等、楽しかったとの声が多く聞かれました。

測樹作業風景



校長先生にも、測竿を持っていただきました。

輪尺で太さを測り、測高器で高さを測定しました。



下刈・補植作業風景



下刈作業終了後には、自分のネームプレートを新しいビニール紐で付け替えました。



記念写真

作業終了後にクラス毎に記念撮影。全員、和やかな笑顔が素敵でした。



編集後記

中里中学校の「あすなろ自遊モリ森」下刈・補植・測樹体験では、昨年10月に自分たちが植えたヒバ空中取り木苗の下刈を行いました。

今後、ヒバの生長とともに、生徒たちもスクスクと成長することを心から祈っています。

